

アルジェリア政治・経済月例報告
(2018年4月)

平成30年6月
在アルジェリア日本国大使館

1 内政

- 1日、ハズベラーウィ保健・人口・医療改革相は、昨年11月から継続している地方研修医のストに関し、同研修医側のニーズを国として支援する用意があるとして、本日の同研修医代表との面談の結果を楽観する旨発言するも、4月を通じて両者の対立は継続。
- 2日、ゼマリー労働・雇用・社会保障相はエル・タルフ県議会にて、同県、エル・ウエッド、スーカハラス、テベッサ各県のチュニジア国境にある26市を対象とした、青年による起業促進等を慫慂する戦略的行動計画について演説。
- 4日、ブーテフリカ大統領は内閣の小規模改造を行い、新たにハッタブ青年・スポーツ相、ジェラブ商業相、ベンメサウード観光・手工業相、ベッタ議会関係相を起用。
- 7日、ウルドゥ・アッベス与党国民解放戦線（FLN）事務総長は、「FLN 党員70万人及び党支援者の名において、ブーテフリカ大統領による職務の継続を党員らが希求しており、国民の要求に大統領が応えることを希望する」旨、党本部会合にて表明。
- 9日、ブーテフリカ大統領はアルジェ市内視察を約1年5か月ぶりに行い（直近は2016年10月のオペラ、国際会議場視察）カスバ旧市街のケチャウア・モスク、メトロ新駅の開所式に出席。
- 11日、ブリタ県ブファリック空軍基地（アルジェから南西約30km）発、空軍所属I L-76輸送機が乗客247名と搭乗員10名を乗せ、離陸直後、基地周辺の農地に墜落し全員が犠牲となり、ブーテフリカ大統領は服喪期間を3日間とした。27日頃まで殉死者の身元確認が継続し、地元各地にて埋葬式が行われた。
- 14日、ウーヤヒヤ首相は久しぶりに記者会見を行い、治安上の懸念から南部砂漠ツアーの自粛を観光業者に求めた。これに対し南部関係者は、観光は南部の貴重な収入源であると反発。24日、ベドゥイ内務・地方自治大臣がギトゥーニ・エネルギー大臣とともにタマンラセット県を訪問し、530kmに及ぶガス・パイプライン事業等の開所式を行い、政府は南部支援を継続するとして首相発言を事実上、否定。
- 17日、2014年の大統領選挙によるブーテフリカ大統領就任4期5年目に際し、当国の外交における重要課題・成果として、パレスチナ問題、マリの

アルジェ合意、リビア、西サハラ問題等を取り上げる記事が政府系紙に掲載。

2 外交

- 3月31日、メレシュカーヌ・ルーマニア外相が2日間の公式訪問のためアルジェに到着し、メサヘル外相と会談し、当国メバルキ職業訓練・専門教育相と自動車産業等における職業訓練プログラムに署名。
- 4月3日、来訪したラホイ西首相及びウーヤヒヤ首相立会いの下、産業、農業、職業訓練、専門教育・科学研究、市民防衛の分野等に関する8件の合意に署名。両国政府は、テロ、国境を越えた犯罪、不法移民、リビア、マリ、西サハラ、サヘル地域の問題等について協議。
- 4日、米国のニューネス (Devin Nunes) 下院諜報特別委員会委員長(共)が来訪の上、ウーヤヒヤ首相及びメサヘル外相と面談し、当地域におけるテロ対策における当国の役割を称賛。また、25日、AFRICOM司令官がアルジェリアに来訪。
- 11日付報道によると、アイサ宗教・ワクフ相は、アズハル及びマッカ（メッカ）の禁裡モスク集団礼拝導師ら13か国からの参加を得て、第14回マーリキー派に関する国際フォーラムをアイン・デフラ県で開催し、「分派主義の扇動を目論んだ輩は、アルジェリア人に根付いた（スンニーの）マーリキー派の強固さに直面した。米国軍人21名の代表団や同国のイスラム法学者と共通の関心事について対話した」旨発言。
- 11日、メサヘル外相はフランス国際関係研究所（IFRI）にて「テロ・過激主義対策：アルジェリアの経験」と題した講演にて、テロのイデオロギーと扇動は未だに強く、テロ要員リクルートは常に行われている旨発言。

3 治安

- 26日、ジジェル県においてテロリストであった家族10人が軍に投降した。同家族は軍当局に無事保護され、社会復帰を目指している。また、マキ（山岳・森林地帯）で活動するテロリストやその周辺者に対し投降説得に協力する意向を示した。ジジェル県、タマランセット県等でテロリストの軍当局への投降が相次ぎ、4月中は合計40人が投降した。
- 5日付報道によるとアルジェリア警察庁（DGSN）は、一般市民向けに新たなアプリケーション“Allo police”を導入した。このアプリケーションは、グーグル・プレイでダウンロード可能で市民は事故や犯罪被害に遭遇した際、このアプリケーションを使用して写真を警察に送信すれば、警察はより迅速かつ効果的に出動できるようにするものである。同アプリケーションは、警察フリーダイヤル（17番、1548番及び104番）と同様、市民とのコミュニケー

ション強化の一環で導入されたものである。

● 9日、オラン県において警察当局は、早朝よりサヘル地域出身の不法滞在者を取締り、300人を逮捕した。当局は不法滞在者を本国へ送還するためバスをチャーターし、南部へ移送した。移民問題は、アルジェリアにとって大きな懸案事項であり、23日にはカジミ内務省移民問題担当部長が国営放送で不法入国者は1日500人の割合で周辺国からアルジェリアに流入しており、移民問題は密輸、テロとのつながり、内政干渉等に発展する蓋然性が高いため国境警備に最大の努力を注いでいると述べた。

● 13日、コンスタンティーヌ県で行われたサッカーの試合で応援団同士の乱闘から競技場周辺では物品略奪、車両破壊、応援団のバスへの放火等の暴動の発展し、70人が逮捕され、警察官を含む多数が負傷、2人が重傷、1人が死亡。11日に発生した軍用機墜落事故（死亡者257人）を受け、大統領が3日間の服喪を発令していた中での暴動であり、各方面から非難がわき起こった。

● 19日付報道によると米民間会社が世界135か国の国民に自国の治安機関への信頼度、体感治安等にアンケートを実施したところ、アルジェリア国民の90%が安全と感じると回答し、アルジェリアは世界135か国中7位（アフリカでは1位）にランキングされた。このアンケート結果から明らかなように本国治安機関に対する国民の信頼度は非常に高いことが分かった。

4 経済

● 1日、ルノー・アルジェリアはウェド・トレラットの工場で、ヌーヴェル・クリオ IV の生産を開始。同社が当地で生産する自動車としては三モデル目。

● 2日、商業省のフェルーヒ官房長はテレビ番組に出演した際、飲料生産の原料となる香料を含む60品目について、輸入停止措置を解除する旨発言。

● 3日、西のラホイ首相の訪問に合わせアルジェリア西ビジネスフォーラムが開催。ウーヤヒア首相、ユースフィー産業・鉱業相他、両国から約700名が出席。同フォーラムの中で西側は、アルジェリアの投資に関する規制及び輸入制限措置の緩和を要求。

● 4日、アルジェリア商工会議所（CACI）は総会を開催し、2018年の行動計画を承認。国内におけるサロンやビジネスデーの開催の他に、本年中にインドネシア、スイス、露、マリ、セネガル等、7か国へのミッション派遣を計画。

● 10日、当地各紙は、仏のユーラーヘルメス信用保険会社が四半期ごとに発表しているカントリー・リスクの評価において、アルジェリアがC2からC3（重大なリスクのある国）に格下げされたことを報道。

● 10日、欧州委員会のマルムストローム貿易担当委員は、仏国民議会での演説の中でアルジェリアによる輸入制限措置が欧州との連合協約に違反するもの

であり、中国を利するものであると批判。

● 16日、世界銀行はアルジェリア政府が行っているいわゆる「非慣例的」な資金調達のリスクに懸念を示し、当国の2018年のインフレ率を7.5%とする予測を発表。

● 17日、IMFはアルジェリアの2018年度の経済成長率の予測を昨年10月発表の0.8%から3%に上方修正する一方で、インフレ率については7.4%と予測。

● 17日、アルジェリア経営者フォーラム（FCE）と全国労働者連盟（UGTA）は、マルルストローム欧州委員会貿易担当委員の当国の貿易政策に対する批判に対して「懸念」を表明し、政府の行っている輸入制限措置は当国の経済を守るためのものであると擁護する共同声明を発表。

● 22日、関税庁より2018年第1四半期の貿易収支につき以下のとおり発表。括弧内は前年同期比。

貿易赤字：4億9000万ドル（83.68%減）

輸出高：107.16億ドル（20%増）

輸入高：112億ドル（6%減）

● 30日、セビタル労働者支援委員会はセビタルの搾油工場向け機材がベジャイア港において港湾当局から荷揚げを拒否されている事態に関し、ブーテフリカ大統領の介入を求める公開書簡を発表。同様の公開書簡は三度目。

5 日本との関係

● 11日の空軍輸送機墜落事故を受け、同日、小川大使からブーテフリカ大統領、ウーヤヒヤ首相、メサヘル外相及びガイド・サラ国軍参謀総長に対し、弔意メッセージを発出。

● 22日、ユースフィ産業・鉱業相は小川大使による着任表敬を受け、両国間における投資・産業分野におけるパートナーシップ強化への期待を表明。

<アルジェリア要人の外国訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
4月2日～3日	ハンガリー	ルー法務・国璽大臣	トローチャーニー司法大臣
4月4日～5日	チュニジア	ラウイヤ財務大臣	第43回イスラム開発銀行総裁会議に出席
4月5日～6日	エジプト	ブハジャ国民議会議長	第27回アラブ議会連合会議に出席。カタール諮問評議会議長及びエジプト下院

			議長と会談
4月6日～7日	チュニジア	ミフビ文化大臣	第34回チュニス国際ブックフェアに出席
4月8日～9日	エジプト	ゼマリー労働・雇用・社会保障大臣	第45回アラブ労働機構会合に出席
4月9日～11日	フランス	メサヘル外務大臣	ル・ドリアン欧州・外務大臣及びアズレ・ユネスコ事務局長と会談
4月9日～11日	アラブ首長国連邦	ユースフィー産業・鉱業大臣	第8回投資会議に出席
4月10日～12日	インド	ギトウーニ・エネルギー大臣	第16回エネルギー国際フォーラム閣僚級会合に出席
4月10日～11日	ヨルダン	ラウイヤ財務大臣	第9回アラブ財務大臣会合及び第47回アラブ金融機構会合に出席
4月13日～16日	サウジアラビア	メサヘル外務大臣	第29回アラブ連盟サミット準備閣僚会合に出席
4月14日～16日	サウジアラビア	ベンサラ国民評議会議長	ブーテフリカ大統領の代理として第29回アラブ連盟サミットに出席。アブデル・アジズ・モーリタニア大統領、エセブシ・チュニジア大統領及びアッバース・パレスチナ大統領と会談
4月16日～18日	ギニア	ベドゥイ内務大臣	カマラ国務・治安・安全対策大臣と会談。コンデ領土管理・地方分権大臣及びトゥーレ外務・在外自国民大臣を表敬
4月17日～18日	サウジアラビア	ユースフィー産業・鉱業大臣	第13回合同委員会を共催
4月22日～24日	エジプト	メデルシ憲法評議会議長	第10回アラブ諸国憲法裁判所・憲法評議会連合年次総会に出席
4月25日～	ヨルダン	ブアズギー農	第48回アフリカ農業開発

26日		業・地方開発・ 漁業大臣	機構執行評議会に出席
4月25日～ 27日	ケニア	ベンゲブリ国民 教育大臣	アフリカ教育ハイレベル会 合に出席
4月26日～ 27日	フランス	メサヘル外務大 臣	テロ資金対策に関する国際 会議に出席。アルファノ伊 外務大臣, ド・フロリアン 仏国家情報・テロ対策調整 局長及びセールズ米務省 テロ対策調整官と会談
4月29日	チュニジア	カウアーン報道 大臣	第19回アラブ・ラジオ・ テレビ・フェスティバルに 出席

<外国要人のアルジェリア訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
3月31 日～4月 1日	ルーマニア	メレシュカーヌ 外務大臣	メサヘル外務大臣と会談。メデ ルシ憲法評議会議長, ブハジャ 国民評議会議長及びウーヤヒ ヤ首相を表敬
4月3日	スペイン	ラホイ首相	第7回アルジェリア西二国間 ハイレベル会合の枠組で訪問。 ウーヤヒヤ首相と会談。ブーテ フリカ大統領を表敬
4月3日	スペイン	デ・コスペダル国 防大臣	第7回アルジェリア西二国間 ハイレベル会合の枠組で訪問。 ガイド・サラ国軍参謀総長と会 談
4月3日	スペイン	ダステイス外務 大臣	第7回アルジェリア西二国間 ハイレベル会合の枠組で訪問。 メサヘル外務大臣と会談
4月3日	スペイン	ゾイド内務大臣	第7回アルジェリア西二国間 ハイレベル会合の枠組で訪問。 ベドゥイ内務大臣と会談
4月3日	スペイン	エリン教育・職業	第7回アルジェリア西二国間

		訓練・大学担当副大臣	ハイレベル会合の枠組で訪問。ベンゲブリ国民教育大臣及びメバルキ職業訓練・専門教育大臣と会談
4月3日	スペイン	ベラ研究・開発・イノベーション担当副大臣	第7回アルジェリア西二国間ハイレベル会合の枠組で訪問。ハジャル高等教育・科学研究大臣と会談
4月3日	スペイン	ポンセラ商務担当副大臣	第7回西アルジェリア二国間ハイレベル会合の枠組で訪問。
4月4日	米国	ニューネス下院諜報特別委員会委員長	ウーヤヒヤ首相及びメサヘル外務大臣を表敬
4月7～8日	アンゴラ	アウグスト対外関係大臣	メサヘル外務大臣，ギトウーニ・エネルギー大臣と会談。ウーヤヒヤ首相及びベンサラ国民評議会議長を表敬
4月9日	国連	ソルヘイム国連環境計画事務局長	メサヘル外務大臣と会談。ウーヤヒヤ首相を表敬
4月10～14日	チェコ	バレク元老院副議長	ベンサラ国民評議会議長及びブハジャ国民議会議長と会談
4月10～11日	ドイツ	ゲリング・ドイツ連邦議会代表団長	ブハジャ国民議会議長を表敬
4月11日	国連	フセイン万国郵便連合国際事務局長	ウーヤヒヤ首相を表敬
4月16～17日	マリ	サンガレ鉱業・石油大臣	第11回ソナトラック科学技術会議に出席。ギトウーニ・エネルギー大臣と会談
4月17日	マリ	ディアロ文化大臣	第4回国際創造性見本市に出席。ウーヤヒヤ首相を表敬
4月19日	モーリタニア	ナジ最高裁判所長	ブディ最高裁判所長及びルー司法大臣と会談
4月22日	ロシア	クイバシェフ・ス	2025年万博の開催候補地

日		ベルド州知事	エカテリブルグのプロモーションのために来訪。ウーヤヒヤ首相を表敬（ベンメサ우드観光・手工業大臣同席）
4月22 ～23日	ギリシア	カトルガロス外務副大臣	メサヘル外務大臣，ギトウーニ・エネルギー大臣，ユースフィー産業・鉱業大臣，ベンメサ우드観光・手工業大臣及びザアラーン公共事業・運輸大臣と会談
4月24 日	シリア	アブドゥルサッタール・ワクフ・宗教関係大臣	ミフビ文化大臣と会談
4月24 日	パレスチナ	アッワジル・パレスチナ囚人・負傷者組織代表	ベンサラ国民評議会議長と会談
4月25 ～26日	米国	ワルドハウザー米AFRICOM司令官	ガイド・サラ国防副大臣兼軍参謀総長と会談。メサヘル外務大臣及びウーヤヒヤ首相を表敬
4月25 日	フランス	ミゴー会計検査院長	ラウイヤ財務大臣を表敬
4月26 ～27日	ベラルーシ	ウォフク内務大臣	ウーヤヒヤ首相表敬
4月27 ～29日	チュニジア	エル・アビディン文化大臣	チュニジア文化週間に出席。ミフビ文化大臣と会談
4月28 ～29日	コンゴ(民)	オキトウンドウ副首相兼外務・地域統合大臣	メサヘル外務大臣及びユースフィー産業・鉱業大臣と会談。協力合同委員会設置の協約及び政策協議に係るMOUに署名。ウーヤヒヤ首相を表敬
4月29 ～30日	英国	リズビー・アルジェリア担当首相特使	ギトウーニ・エネルギー大臣，ユースフィー産業・鉱業大臣，ラウイヤ財務大臣及びジェラブ商業大臣と会談

(了)